

北千島パラムシル島でアカマロソウ再発見

高橋 英樹*・榎原 康裕**・大原 昌宏***

Hideki Takahashi, Yasuhiro Kuwahara and Masahiro Ohara: Re-discovery
of *Subularia aquatica* L. in Paramushir, northern Kurils

アブラナ科のアカマロソウ *Subularia aquatica* L. は北半球の寒帯から冷温帯にかけて広く分布する水生植物である (Hultén, 1968; Hultén and Fries, 1986). しかし全体として見ると分布は不連続で、いくつかの分布地域に分断されている。ユーラシア東部ではカムチャツカ半島周辺が主な分布地域になっている。この植物は戦前、日本の領土であった北千島パラムシル島南部の武蔵湾来謝 (ライシャ) や摺鉢湾の漁場付近の干上がった沼で発見され、全長 1 cm ばかりの姿からその当時の日本産植物においては最小の顕花植物と考えられ、「珍奇植

物」の名前まで冠せられた (大井・吉井, 1934)。和名アカマロソウは北千島探検に功績のあった田中阿歌麿子爵への献名である。

その後、最近になって岩手県松尾村の標高 1190 m にある堰止湖夜沼 (よぬま) の水底に *Subularia aquatica* が沈水状態で生育していることが報告された (井上, 1986)。角野 (1994) の水草図鑑にはハリナズナの和名で載せられており、日本ではこれが唯一の例のようである。

我々は 1997 年の国際千島列島調査に参加し、本種の生育を北千島パラムシル島南部 (武蔵湾来謝近くにあたる)



図 1. 北千島パラムシル島南部の干上がった沼に陸生するアカマロソウ

*北海道大学農学部附属植物園； **北海道立網走水産試験場； ***北海道大学農学部昆虫体系学講座

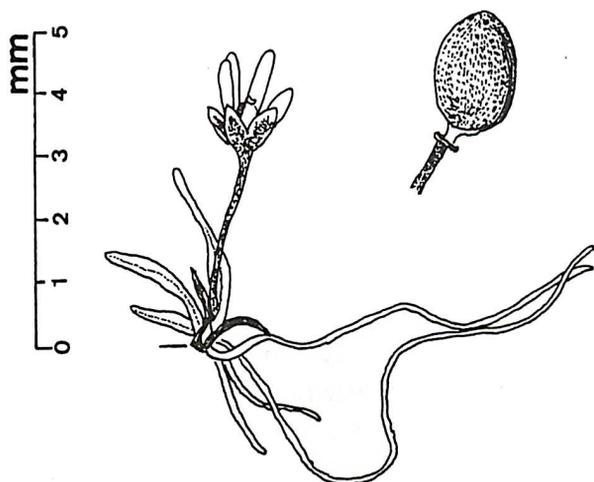


図2. アカマロソウの全体図, 角果は完全に熟していない状態

で再確認した。生育立地は大井・吉井(1934)による報告と同じで、海岸近くの干上がった沼に陸生状態で生育しており白い開放花をつけていた(図1, 2)。形態は以下の通りである。

根は白色糸状で8本くらいまでである。葉は根生状に3~5(7)枚つき、やや質厚く、狭短剣状~線形で長さ5mmまで、幅0.3~0.5(0.7)mm。葉数が多い場合は外側の1~2枚が褐変している。花茎は高さ3~7mmで通常1本、時に2本、花は花茎あたり1~2個で苞は不明。最下の花の小花柄は腋の角度が50~90°に付く。長楕円形~卵形のがく片は鈍~鋭頭で長さ0.7~0.8mm、幅0.5~0.6mm、暗緑色で白膜質に縁どられる。倒披針形へら形で白色の花弁は長さ1.4mm、幅0.5mm。果時にはがく片、花弁とも落ちる。完全に熟していない角果は楕円形で長さ1.5~2mm、幅1.4mm、0.2~0.3mmの柄がある。

以上、葉や花茎は岩手県の沈水状態でのもの(角野, 1994の記載と図)よりずっと小さかった。また、*Subularia aquatica* は旧大陸と新大陸とで *ssp. aquatica* と *ssp. americana* との2亜種に分けられている(Mulligan and Calder, 1964)。今回採取した植物の角果の形は幅広く、*ssp. americana* に近いが、これはサイズ自体が小さいこととやや未熟なことによると思う。がく片が早落性で最下の小花柄の腋の角度がより

大きいことから、旧大陸の *ssp. aquatica* にあたる。

我々の確認した自生地からみて、本種の生育する立地としては山間の貧栄養湖ばかりでなく、低地のやや栄養分のある干上がった沼などにも可能性はある。最近のロシア極東フロラ(Charkevicz et al., 1988)でも、サハリン南部が示されている事からみて、北海道・東北においてもさらに分布が期待されるので注意を喚起したい。

なお、標本の整理にあたって北海道大学教育改善推進費の援助を受けた。

[証拠標本]

Subularia aquatica L. Kuril Islands: Paramushir, S of Zerkal'noye Lake (赤別飛沼), dried-up pond. 50° 02'N, 155° 24'E., alt. 0-15m. Aug. 16, 1997. Y. Kuwahara 211 (SAPT).

引用文献

- Charkevicz, S. S., S. K. Czerepanov, A. E. Kozhevnikov, N. S. Probatova and N. N. Tzvelev (eds.), 1988. Vascular Plants of the Soviet Far East, Vol. 3. Nauka, Leningrad (In Russian).
- Hultén, E., 1968. Flora of Alaska and Neighboring Territories. Stanford University Press, Stanford.
- Hultén, E. and M. Fries, 1986. Atlas of North European Vascular Plants, Vol. I-III. Koeltz Scientific Books, Koenigstein.
- 井上幸三, 1986. 夜沼とほか二つの湖沼の水草について. 岩手植物の会会報(23): 1-4.
- 角野康郎, 1994. ハリナズナ. 『日本水草図鑑』, pp. 121&123. 文一総合出版.
- Mulligan, G. A. and J. A. Calder, 1964. The genus *Subularia* (Cruciferae). *Rhodora* 66: 127-135.
- 大井次郎・吉井良三, 1934. 珍奇植物 *Subularia aquatica* L. (アカマロソウ). 植物分類地理 3: 200.